

就労証明書記載要領

■全般に関する留意事項

*** 就労証明書記載にあたっての留意事項 ***

- これらの証明書は、保育の支給認定及び利用調整(選考)の際の資料となるため、勤務先の担当者が事実のとおりにご記入ください。
- 必要に応じ、担当者にお問い合わせすることがあります。
- この様式は令和5年度申込用です。様式、記入例、FAQ等は大阪市ホームページ(令和5年度 保育施設・事業利用の案内)に掲載しておりますので、必要に応じてご覧ください。

< 雇用されている方 >

- ①～⑥、No.1～11,13,14,18,19,21,26を就労先事業者の方が記載してください(該当しない項目は空欄で構いません)。
- シフト制のため就労時間帯(No.8)及び就労日(No.9)の記載ができない場合は、勤務時間が記載されたシフト表を添付してください。

< 自営業者・自営専従者の方 > ※法人格を有する団体の代表及び役員は< 雇用されている方 >の内容を記載してください。(自営業者ではありません。)

- ①～⑥、No.1～9,11,18,29を記載してください。
- No.11の給与支給実績については、「売上」を記載してください。
- 提出時に、最新の青色申告決算書の控え又は収支内訳書の控え(事業専従者の内訳が分かるもの)を添付してください。
- 開業してから確定申告をしていない場合は、開業届出書の控え又は営業許可証の写しを添付してください。どちらも提出できない場合は、開業にかかる経費の支出明細等、自営業を開始したことが確認できるものを添付してください。

■証明書を発行する事業者に関する項目(①～⑥)

①	証明書発行事業所名	○証明書を発行する事業者の名称(法人名)を記載してください。 ※就労証明書の発行に責任を持つ企業・組織・団体名等を記載してください。 ※個人事業主の場合は事業者の名称を記載してください。
②	証明書発行事業所住所	○証明書発行事業所の住所を記載してください。 ※証明書の証明対象となる者(以下「本人」という。)の就労先住所ではない点に注意してください。
③	証明書発行責任者氏名	○証明書の内容に責任を持つ者の氏名を記載してください。
④	証明書発行責任者役職	○証明書の内容に責任を持つ者の役職名を記載してください。
⑤	証明日	○証明日(証明書発行日)を記載してください。 ※年の欄は西暦で記載してください。
⑥	記載内容の問合せ先	○証明書の内容について、自治体からの事務的な連絡を受ける担当部署、担当者名、電話番号を記載してください。 ※個人事業主等「部署」が存在しない場合は、「担当部署」欄は空欄で構いません。 ※本証明書の作成は、業務内容について事業者として証明できる担当部署、担当者が作成するよう、ご注意ください。

■氏名等に関する項目

No.1	フリガナ/本人氏名	○本人の氏名、フリガナを記載してください。
	本人住所	○本人の住所を記載してください。

■本人の就労状況、就労先(就労予定先の場合含む)に関する項目

No.2	就労状況・予定	○現在の就労状況について該当する項目をチェック(レ点記入)してください。 ※「□就労中」には証明書発行事業所から出向し就労している場合も含まれます。 ※「□産休・育休中」には、法令上の産前・産後休業及び育児休業に限らず法人独自の休業等も含まれます。 ※「□就労予定(転職内定含む)」には、以下の両方を含みます。 ・新規就労(現在無職だが、証明書発行事業所での就労が内定している場合) ・転職(現在別事業所で働いているが、証明書発行事業所での就労が内定している場合) ※いずれにも該当しない場合は「□その他」をチェック(レ点記入)し、カッコ内に具体的に記載してください。
No.3	主な就労先事業所名□	○①証明書発行事業所名と異なる場合は本人が働いている事業所の名称を記載してください。
No.4	主な就労先住所	○②証明書発行事業所住所と異なる場合は本人が実際に働いている事業所の住所を記載してください。 ※実際に働いている就労場所が複数存在する場合は、主たる就労先の住所を記載するようにしてください。 ※就労場所が存在しない場合には、自宅等就労時に本人が主として存在している場所を記載するようにしてください。

■本人との契約(雇用契約等、就労に関する契約)・就業規則の内容に関する項目

No.5	就労形態/働き方	就労形態	○就労形態について該当する項目にチェック(レ点記入)してください。 「□役員(会社の取締役・監査役、法人の理事等)」 会社、団体、公社等の役員(法人格を有する商店等の経営者を含む。) 「□自営業主(個人事業主)」 個人経営の事業を営んでいる者 「□正規の職員・従業員」 派遣労働者ではなく、期間の定めのない労働契約を締結する者 「□パート・アルバイト」 正社員より1日の所定労働時間が短い、または1週間の所定労働日数が少ない者 「□派遣社員」(労働者派遣事業所の派遣社員) 働いている企業等と直接雇用関係がなく、期間の定めがある労働契約を締結する者 「□契約・嘱託社員」 働いている企業等と直接雇用関係があり、期間の定めがある労働契約を締結する者 「□会計年度任用職員」 地方公務員法第22条の2に基づき任用される非常勤職員 「□自営業専従者」 自営業主(個人事業主)と親族関係にある者で専従者控除の対象となる者。いわゆる専従者や自営業協力者のこと。 「□内職者」 自宅で内職(賃仕事)をしている者 「□家族従業者」 自営業主の家族(生計を一にする親族)で、その自営業主の営む事業に無給で従事している者
------	----------	------	---

No.5続き	就労形態/働き方	働き方	<p>「<input type="checkbox"/>業務委託」 業務委託契約を締結する者</p> <p>「<input type="checkbox"/>その他」 上記のいずれにも該当しない場合にチェック(レ点記入)し、カッコ内に具体的に記載してください。</p> <p>※「契約・嘱託社員」等の場合で「会計年度任用職員」にも該当する場合は、「会計年度任用職員」にチェック(レ点記入)してください。</p> <p><input type="radio"/>働き方について該当する項目にチェック(レ点記入)してください。</p> <p>「<input type="checkbox"/>固定の労働時間制」 労働基準法第32条及び第40条に基づく労働時間制度による働き方</p> <p>「<input type="checkbox"/>変形労働時間制」 労働基準法第32条の2、32条の4、32条の5に基づく労働時間制度による働き方</p> <p>「<input type="checkbox"/>フレックスタイム制」 労働基準法第32条の3に基づく労働時間制度による働き方</p> <p>「<input type="checkbox"/>事業場外労働のみなし労働時間制」 労働基準法第38条の2に基づく労働時間制度による働き方</p> <p>「<input type="checkbox"/>裁量労働制」 労働基準法第38条の3、第38条の4に基づく労働時間制度による働き方</p> <p>※いずれにも該当しない場合には「<input type="checkbox"/>その他」欄にチェック(レ点記入)し、カッコ内に具体的に記載してください。</p>
No.6	就労日数		<p><input type="radio"/>一月当たり、一週当たりの就労日数について記載してください。</p> <p>※雇用契約に基づく就労日数であり、実際に就労した日数(実績)ではありません。</p> <p>※雇用契約上、月当たりの就労日数が定められている場合、週当たりの就労日数欄には、4(週)で除した日数を記載してください。</p> <p>※雇用契約上、週当たりの就労日数が定められている場合、月当たりの就労日数欄には、4(週)を乗じた日数を記載してください。</p> <p>※雇用契約上、年当たりの就労日数が定められている場合、月当たりの就労日数欄には12(月)で除した日数、週当たりの就労日数欄には48(週)で除した日数を記載してください。</p>
No.7	就労時間 ※休憩時間含む		<p><input type="radio"/>一月当たり、一週当たり、一日当たりの就労時間について記載してください。</p> <p>※雇用契約に基づく就労時間であり、実際に就労した時間(実績)ではありません。育児短時間勤務制度等を利用している場合でも、制度利用前の就労時間数を記載してください。</p> <p>※雇用契約上、週当たりの就労時間が定められている場合、月当たりの就労時間欄には、4(週)を乗じた時間を記載してください。</p> <p>※雇用契約上、年当たりの就労時間が定められている場合、月当たりの就労時間欄には12(月)で除した時間を、週当たりの就労時間欄には48(週)で除した時間を記載してください。</p> <p>※雇用契約上の就労時間であるため、残業時間は除いてください。</p> <p>※シフト勤務等変則就労の場合は、一日当たりの就労時間については、平均的な就労時間を記載してください。なお、市区町村における保育の必要性認定に必要となる場合は、シフト表の追加提出を求める場合があります。</p> <p>※休憩時間(就業規則等で定められている休憩に限る。)は含めてください。また、就業規則等で定められている休憩時間数についても記載してください。</p>
No.8	就労時間帯		<p><input type="radio"/>就労時間帯(何時から何時まで働くこととされているか)を記載してください。</p> <p>※時間帯は、「24時間表記」で記載してください。夜間勤務など日をまたぐ場合には、0時～29時の幅(例えば22時から翌朝5時まで就労する場合は「22時00分～29時00分」)で記載してください。</p> <p>※短時間勤務制度を利用している場合は、制度利用前の雇用契約・就業規則上の就労時間帯を記載してください。</p> <p>※フレックスタイム制、裁量労働制の場合は、標準的な就労時間帯を記載してください。</p> <p>※曜日等により標準的な時間帯が異なるなど、定期的に異なる就業時間帯を組み合わせている場合は、3パターンまで、各パターンごとに標準的な就労時間帯を記載してください。</p> <p>※複数パターンの就労時間帯を記載する場合、主たる労働時間帯が決まっている場合は当該時間帯を①に、決まっていない場合は一月当たりの勤務回数が多い時間帯を①としてください。</p>
No.9	就労日		<p><input type="radio"/>雇用契約・就業規則上の就労日(曜日又は祝日)について該当する項目にチェック(レ点記入)してください。</p> <p>※定休日ではないので注意してください。</p> <p>※時間帯①～③について、No.8で回答した時間帯に対応する就労日を選択してください。No.8において記載していない時間帯については、記載不要です。</p> <p><input type="radio"/>休日が不規則で、事業所の年間カレンダーで休日が決まっている場合には、その旨を備考欄に記載の上、別途カレンダーを提出してください。</p> <p><input type="radio"/>土日祝日の就労が常態的(平均して月1回以上)である場合には、その旨備考欄に記載してください。</p>
No.10	雇用(予定)期間等		<p><input type="radio"/>雇用期間について「<input type="checkbox"/>無期」か「<input type="checkbox"/>有期」にチェック(レ点記入)してください。</p> <p><input type="radio"/>雇用期間について「<input type="checkbox"/>無期」の場合は就労開始(予定)日のみを、「<input type="checkbox"/>有期」の場合はその期間を記載してください。</p> <p>※年の欄は西暦で記載してください。</p> <p>※就労開始(予定)日については、確定していなくても予定日での記載をするようにしてください。就労開始予定日を保育所等の利用開始日としている場合は、「<input type="checkbox"/>保育所等入所次第」にチェック(レ点記入)してください。</p> <p><input type="radio"/>雇用期間について「<input type="checkbox"/>有期」をチェックした場合は契約満了後の更新の有無について「<input type="checkbox"/>有」「<input type="checkbox"/>有(見込み)」「<input type="checkbox"/>無」「<input type="checkbox"/>未定」のいずれかにチェック(レ点記入)してください。</p> <p><input type="radio"/>契約満了後の更新の有無について「<input type="checkbox"/>有」又は「<input type="checkbox"/>有(見込み)」を選択した場合、更新後の雇用予定期間について可能な範囲で記載してください。</p> <p>※原則として年度更新が予定されているものの確定していない等のケースであっても、予定で記載するように入力してください。</p>

■本人の就労実績に関する項目

No.11	直近の就労実績	年・月	○直近の就労実績のある「年・月」を新しい順に記載してください。 (例:○○年6月、○○年5月、○○年4月) ※「直近」とは、「証明日の属する月」の前月末まで(証明日が10月1日の場合の直近3か月は、7~9月)をいいます。 ※締日との関係で、証明日の属する月の前月の実績を把握していない場合は、証明日の属する月の前々月末まで(証明日が10月1日の場合、6~8月)を「直近」として記載してください。 ※年の欄は西暦で記載してください。
		就労日数 ※有給休暇含む	○「年・月」に対応する就労日数を記載してください。なお、育児休業等により直近期間において一月分の就労実績がない場合は、育児休業等取得月を除き、育児休業等取得前の就労実績も合わせて記載してください。 新規採用等で就労実績がない場合は今後の就労見込みを記載してください。 ※有給休暇取得日数、休日出勤等を含めて記載してください。 ※1時間でも働いた日は1日として計上してください。
		給与支給実績 ※賞与一時金、通勤手当を除いた給与額(税・社会保険料等の控除金額)	○「年・月」に対応する給与支給実績について記載してください。 ※締日・支給日等の関係で、対応する給与支給実績が未確定の場合は、当該月分についてのみ空欄として構いません。 ※締日・支給日等の関係で、当該月分の労働時間の実績に給与支給実績が合致しない場合については、証明書を発行する事業者において当該月分として支給している給与額を支給実績として記載し、その旨備考欄に記載してください。 ※賞与一時金、通勤手当を除いた給与額(税・社会保険料等の控除前の額)を記載してください。

■育児に関する休業・短時間勤務制度に関する項目

No.13	育児休業の取得(予定)期間	期間	○育児休業の取得(予定)の根拠について「 <input type="checkbox"/> 法定」か「 <input type="checkbox"/> 企業独自」かにチェック(レ点記入)してください。 ※育児・介護休業法に基づく育児休業の場合は「 <input type="checkbox"/> 法定」とし、同法に基づかない法人独自の就業規則等に基づく育児のための休業の場合は「 <input type="checkbox"/> 企業独自」としてください。 ○育児休業の取得(予定)期間を記載してください。 ※年の欄は西暦で記載してください。 ※法令上の育児休業に限らず法人独自の就業規則等に基づいた休業も含まれます。 ※取得済みの場合は実績を記載してください。 ※現在取得中の場合若しくは今後取得予定の場合はその期間(発行者が⑥証明日時点を把握している年月日)を記載してください。 ※終期が確定していない場合でも終了予定日を記載するようにしてください。取得期間が未定で、終了予定日についての記載も困難な場合は空欄で構いません。
		延長	○育児休業の延長について「 <input type="checkbox"/> 可」か「 <input type="checkbox"/> 否」にチェック(レ点記入)してください。 ○育児休業の延長が「 <input type="checkbox"/> 可」の場合はその期間を記載してください(任意)。 ※可否が未定の場合や終期が未定の場合は可能な範囲での記載で構いません。 ※取得中又は取得予定の場合で、取得中(又は予定)期間のほかに、最長取得可能期間がある場合は、延長「 <input type="checkbox"/> 可」とした上でその期間を記載してください。
		入所が内定した場合の育児休業の短縮可否	○育児休業の終了予定日より前の日時での保育所等の入所が内定した場合、育児休業を短縮し、入所内定日から復職することについて、「 <input type="checkbox"/> 可」か「 <input type="checkbox"/> 否」にチェック(レ点記入)してください。
No.14	復職(予定)日	○証明書発行事業所において取得中(又は取得予定)の育児休業等に係る復職(予定)日について証明書発行事業所が⑤証明日時点を把握している年月日を記載してください。 ※年の欄は西暦で記載してください。 ※証明書発行事業所において取得した育児休業等から復職済みの場合は、復職した日を記載してください。	

■備考

備考	○No.11における給与支給実績につき、当該月分の労働時間数と必ずしも一致しない場合はその旨を記載してください。 ○特記事項があれば、この欄に記載してください。
----	---

■本人の就労状況・就労先(就労予定先の場合含む)に関する項目

No.18	就労状況・予定②	社会保険加入状況	○「社会保険」について、「 <input type="checkbox"/> 加入」「 <input type="checkbox"/> 加入予定」「 <input type="checkbox"/> 非加入」のいずれかにチェック(レ点記入)してください。
		業務内容	○本人の担当する業務内容について、簡潔に記載してください。
		配偶者控除	○市町村民税における配偶者控除について「 <input type="checkbox"/> 対象」か「 <input type="checkbox"/> 対象外」にチェック(レ点記入)してください。
		扶養親族	○扶養親族がある場合には、該当する扶養親族を全てチェック(レ点記入)してください。
		社会保険加入状況	○「社会保険」について、「 <input type="checkbox"/> 加入」「 <input type="checkbox"/> 加入予定」「 <input type="checkbox"/> 非加入」のいずれかにチェック(レ点記入)してください。

■本人との契約(雇用契約等・就労に関する契約)・就業規則の内容に関する項目

No.19	就労形態②	給与形態/金額	<p>○給与形態について該当する項目にチェック(レ点記入)してください。 ※いずれにも該当しない場合は「□その他」をチェック(レ点記入)し、カッコ内に簡潔に記載してください。</p> <p>○給与形態に対応した給与額を記載してください。 ※賞与一時金、通勤手当を除いた給与額(税・社会保険料等の控除前の額)を記載してください。</p>
		雇用主との親族関係	<p>○本人と雇用主との親族関係の有無について、「□有」か「□無」にチェック(レ点記入)してください。 ※親族関係は3親等内の親族としてください。</p> <p>○親族関係「□有」の場合、雇用主の本人との続柄を記載してください。</p>
		月2回以上の夜間勤務の有無	<p>○月2回以上の夜間勤務の有無について「□有」か「□無」にチェック(レ点記入)してください。 ※夜間勤務とは、夜24時を含む勤務です。 ※宿直や宿泊を伴う出張を含み残業は含みません。</p>
		週2回以上の夜間勤務の有無	<p>○週2回以上の夜間勤務の有無について「□有」か「□無」にチェック(レ点記入)してください。 ※夜間勤務とは、夜24時を含む勤務です。 ※宿直や宿泊を伴う出張を含み残業は含みません。</p>

■本人の就労実績に関する項目

No.21	産休・育休以外の休業の取得期間	<p>○産前・産後休業、育児休業以外の休業を取得している場合、当該休業の取得状況について、「□取得中(予定)」か「□取得済み」にチェック(レ点記入)してください。 ※休業取得予定の場合も「□取得中(予定)」にチェック(レ点記入)してください。</p> <p>○休業を取得している理由について、「□介護休業」「□病休」「□その他」にチェック(レ点記入)してください。 ※介護休業は、法定の介護休業のほか、法人独自の就業規則等に基づいた休業も含まれます。 ※「□その他」の場合には、カッコ内に簡潔に理由を記載してください。</p> <p>○また、休業取得(予定)期間について記載してください。 ※終了日が確定していない場合でも、終了予定日がある場合には、終了予定日を記載してください。終了予定日の設定もなく終期末定の場合は、終了年月日欄は空欄で構いません。</p>
-------	-----------------	--

■育児・他時間勤務制度に関する項目

No.26	育児のための短時間勤務制度の利用をはじめとした勤務体制の変更実績	体制変更要因	<p>○育児短時間勤務制度の利用をはじめとした勤務体制の変更実績がある場合に、勤務体制の変更要因について、「□育児短時間勤務制度利用」、「□育休以外の休業からの復職による変更」、「□雇用形態の変更」か「□その他」にチェック(レ点記入)してください。 ※「□その他」の場合は、カッコ内に簡潔に要因を記載してください。</p>
		勤務体制の変更期間(実績)	<p>○勤務体制の変更期間(実績)を記載してください。 ※年の欄は西暦で記載してください。 ※実際に勤務体制を変更していた期間を記載してください。</p>
		変更後の就労時間 ※休憩時間含む	<p>○勤務体制変更時の一月当たり又は一日当たりの就労時間についてを記載してください。 ※勤務体制を変更していた期間に該当する雇用契約に基づく就労時間であり、実際に就労した時間(実績)ではありません。 ※雇用契約上、週当たりの就労時間が定められている場合、4(週)を乗じるか、5(日)で除してください。 ※雇用契約上、年当たりの就労時間が定められている場合、12(月)で除して一月当たりの就労時間について記載してください。 ※契約上の就労時間であるため、残業時間(時間外労働分)は除いてください。 ※休憩時間(就業規則等で定められている休憩に限る。)は含めてください。</p> <p>○一月当たりの就労日数を記載してください。 ※雇用契約に基づく就労日数であり、実際に就労した日数(実績)ではありません。 ※一月当たりの日数は、年間所定就労日数を12で割った「平均」としてください。 ※週当たりの就労日数が定められている場合、4(週)を乗じた日数を記載してください。 ※年当たりの就労日数が定められている場合、12(月)で除した日数を記載してください。</p>

■個人事業に関する項目

No.29	個人事業形態	経営者との関係	<p>○本人と経営者との関係について該当する項目にチェック(レ点記入)してください。 ※いずれにも該当しない場合は「□その他」をチェック(レ点記入)してください。 ○経営者との関係で、「□専従者」「□家族従業者」「□その他」にチェック(レ点記入)した場合は、右欄に経営者との続柄を記載してください。</p>
		店舗の有無	<p>○店舗の有無について「□有」か「□無」にチェック(レ点記入)してください。</p>
		開業期間	<p>○個人事業としての開業期間について記載してください。 ※年の欄は西暦で記載してください。</p>

■保護者記載欄

保護者記載欄	児童との続柄	<p>○本人と児童との続柄について児童側からの視点で続柄をチェック(レ点記入)してください。 ※いずれにも該当しない場合は「□その他」をチェック(レ点記入)し、カッコ内に具体的に記載してください。</p>
	児童について	<p>○児童名を記載してください。 ○児童の生年月日を記載してください。 ※年の欄は西暦で記載してください。 ○施設(保育所、認定こども園、地域型保育事業)の名称を記載してください。また、「□利用中」「□転園」「□申込み中(第一希望)」にチェック(レ点記入)してください。</p>